

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和7年 1月 8日（水） 発行人：校長 森内 秀学

「徹底」の「決定」で、「変化」を「進化」に

明けましておめでとうございます。今年も引き続き、本校の教育活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願ひします。

さて、新年を迎えるに当たって、様々な夢を抱いたと思いますが、Mr.Children の「進化論」という歌に、こんなフレーズがあります。



変わらぬことがあるとすれば 皆 変わっていくってことじゃないかな？

描かずに消した 読まずに伏せた 夢をもう一度広げよう

「誰しも変わりゆくものだから、いっそ夢の実現に向けてよりよく変化し、進化していこうよ。」そんな思いが込められた歌だと思っています。

では、「変化」を、「退化」ではなく「進化」へと導くためには、何が必要でしょうか。

まずは、①自分をよく見つめ、振り返ることです。そのうえで、②見つけた課題のどれをどのように頑張るのか自分で決定し、③それを徹底することです。

今年、学校全体で取り組み、振り返った視点は、主体性（たい）、時津小版五つのしおり（届くあいさつ・聞こえる返事・そろったかかと・ごみのない教室・2分前着席）、アウトプット（発表・対話・書く）、それを支えるスキル（読む・聞く・反応する）などでした。

大事なのは、徹底して頑張る自分の課題を、自分で見つけ、自分で決定することです。

3学期に登校する日は、わずか50日ほど。その中で頑張る子どもの決めた徹底事項を、ぜひひたすねてみてください。そして、温かい後押しをよろしくお願ひします。



伝統を次代へ～とんちの会～

正月に門松を飾る学校や家庭がどれくらいあるでしょうか。12月29日は、とんちの会と子どもたち、そして職員による門松づくりでした。前日に準備していただいた竹を体裁よく切りそろえ、伝統に沿って飾りつけました。こうした伝統を、次世代を担う子どもたちが体験的に学べるというのは、大変貴重なことです。次年度は、もっと参加者が増えることを願っています。



【お知らせ】

本日から、川本 瞳 教諭の代替として、前野 栄子（まえの えいこ）講師が着任しました。明るく、教職キャリアの長い、素晴らしい先生です。川本教諭が担当していた授業に加え、遠藤教諭が担当していた4年生の書写も担当します。

